

## 試験研究（中間）評価整理表

試験研究機関名 内水面水産試験場  
 所管グループ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	5 生態系や環境に配慮した技術開発	水産資源の増殖技術に関する研究	天然アユ遡上状況調査	当県では天然アユの遡上状況についての詳細な調査知見が乏しいため、その実態を明らかにし、効率的な増殖事業を推進する。	アユの形態から天然・人工を判別する技術を開発し、天然アユの遡上時期、尾数、サイズの変化、解禁後の天然・人工の比率等を把握した。今後はより簡便な資源量の把握手法について検討する。	16	20	C	アユ系群の判別法・潜水調査等により遡上アユの生態的知見(サイズ、分布傾向)は得られたが、現状の調査手法では資源量把握に限界があり、増殖事業への展開が難しい。このため、漁協が実施可能な技術を念頭に、資源量の把握を重点とした研究へ手法を変更する必要がある。	問題点、見直しの必要性は納得できる。